

令和6年度（2024年度）大学、短期大学及び高等専門学校における
障害のある学生の修学支援に関する実態調査

調査票の作成要領（補足）

令和5年度と令和6年度では、調査票の記入方法の変更点がいくつかあります。この資料は、各大学等で回答を作成する際に特に留意が必要な事項を解説するものです。「調査の手引」と合わせて参照してください。

1. 支援障害学生と合理的配慮提供学生

- 「支援障害学生」の定義を変更し、「合理的配慮提供学生」を追加しました。

- 障害学生と支援障害学生と合理的配慮提供学生の関係は下の図のようになります。

令和6年度からの支援障害学生の定義

支援障害学生は、障害学生のうち大学等が修学のための支援を提供する対象としている学生です。

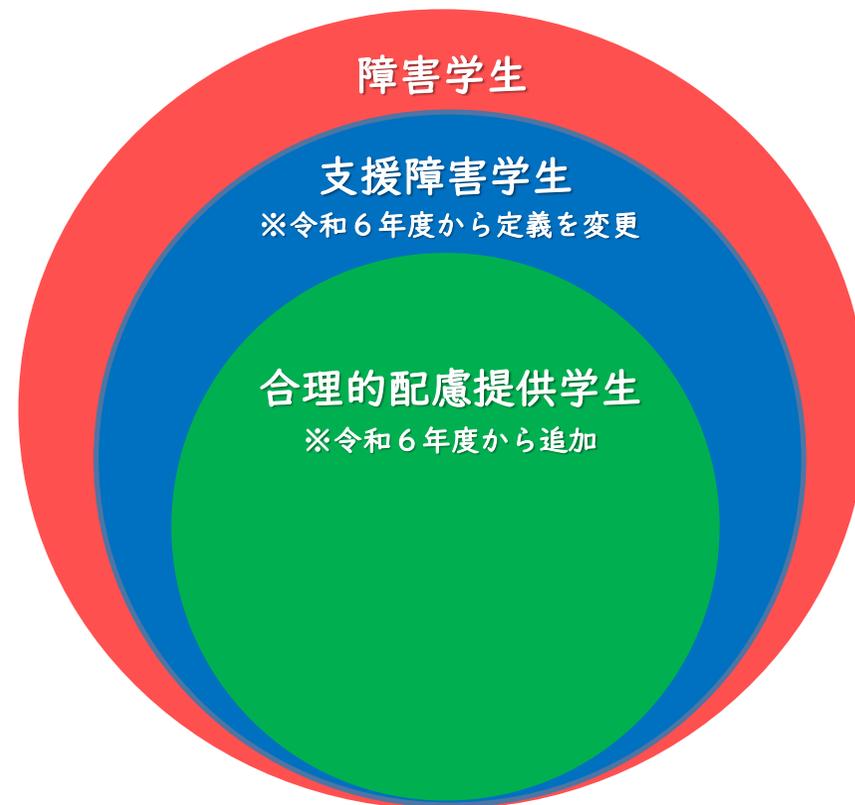
支援障害学生に該当する者

大学等が何らかの支援を実施している又は当該年度中に実施する予定がある学生が該当します。

※障害学生からの申出の有無を考慮しません。

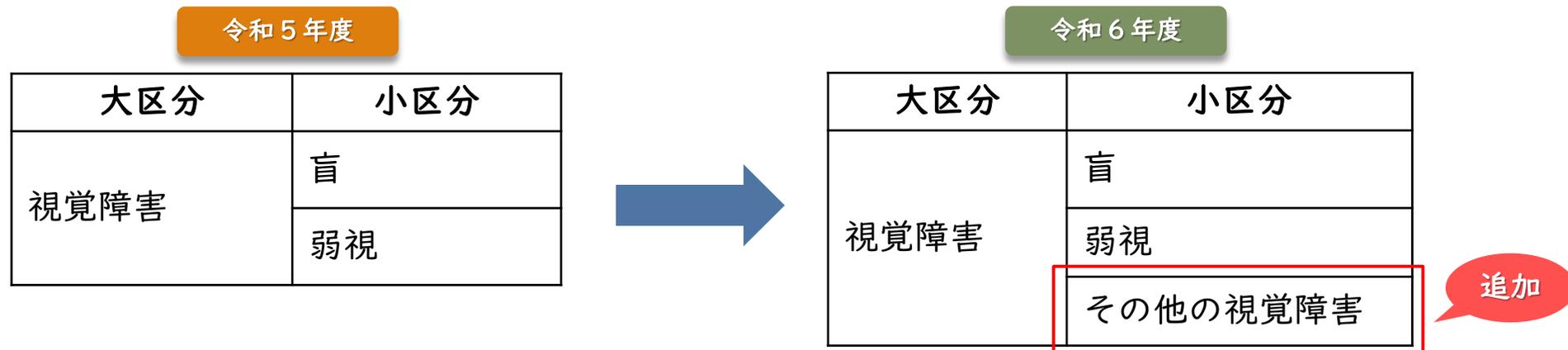
合理的配慮提供学生に該当する者

支援障害学生の内数として、当該支援障害学生からの申出に基づき大学等が所定の手続きを経て合理的配慮を提供している学生が該当します。

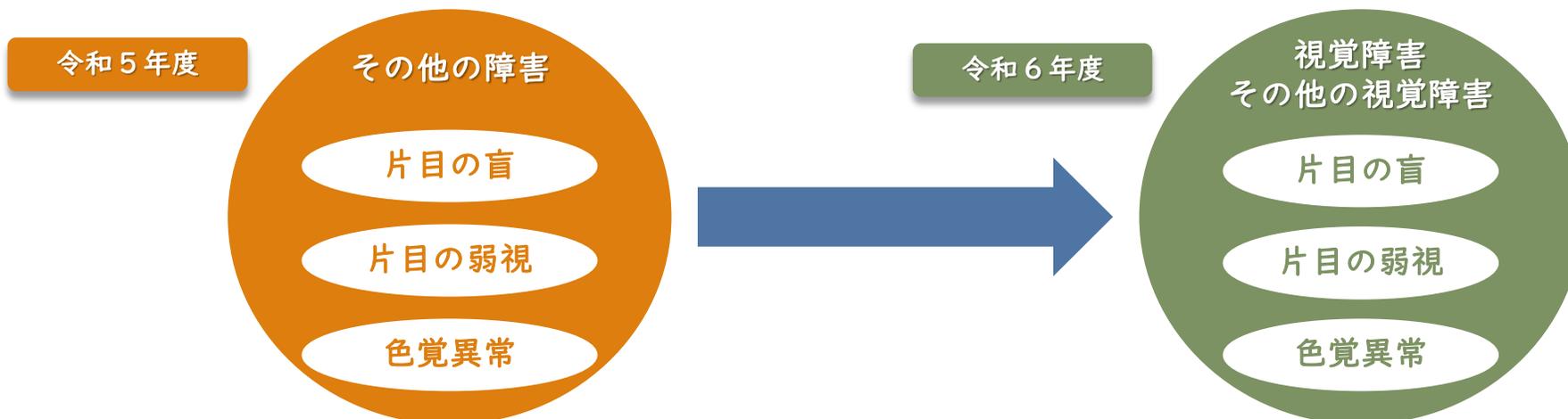


2. 視覚障害

●令和6年度から大区分「視覚障害」に小区分「その他の視覚障害」を追加しました。



●片目の盲、片目の弱視、色覚異常などの診断名について、障害区分が移動します。

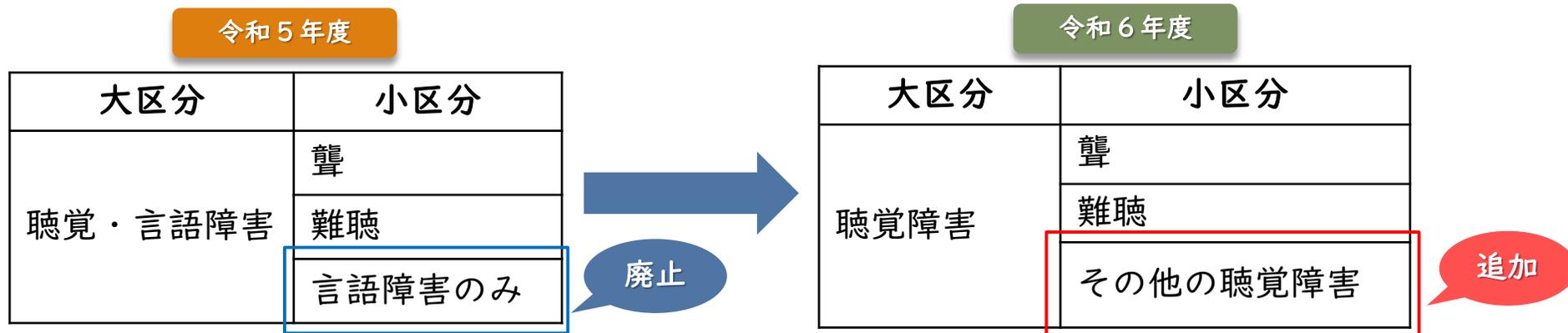


【対象シート】

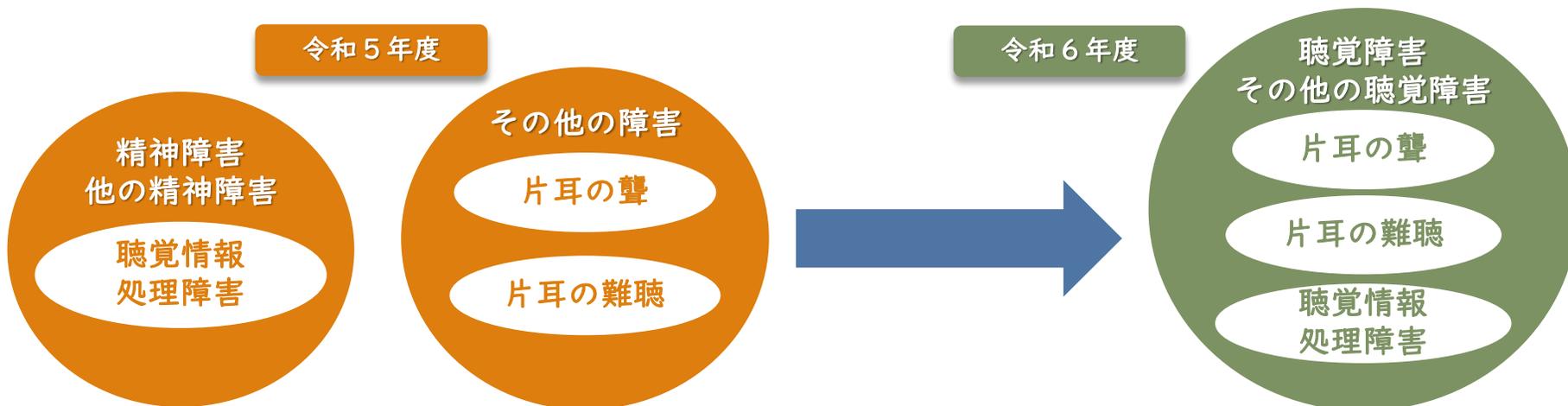
シート4 授業支援と授業以外の支援 シート6 受験者数・入学者数 シート7 前年度卒業生の進路 シート8 障害学生数～合理的配慮提供学生数

3. 聴覚障害

- 令和5年度までの大区分「聴覚・言語障害」の名称を「聴覚障害」に変更し、令和6年度から小区分「その他の聴覚障害」を追加しました。



- 片耳の聾、片耳の難聴、聴覚情報処理障害などの診断名について、障害区分が移動します。

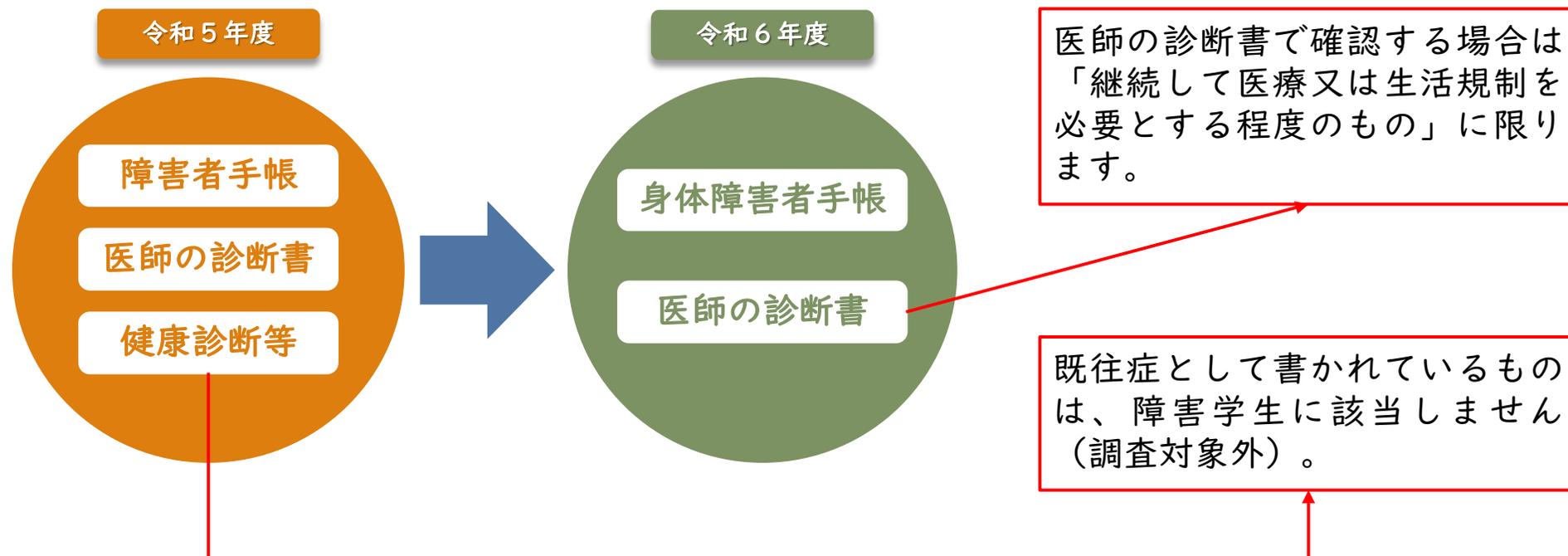


【対象シート】

シート4 授業支援と授業以外の支援 シート6 受験者数・入学者数 シート7 前年度卒業生の進路 シート8 障害学生数～合理的配慮提供学生数

4. 病弱

- 令和5年度までの大区分「病弱・虚弱」の名称を「病弱」に変更しました。なお、従来の「内部障害等」・「他の慢性疾患」の小区分を廃止しました。
- 病弱の学生の要件は、令和5年度までは「障害者手帳、医師の診断書、健康診断等」でしたが、令和6年度から「健康診断等」は含まれません。



【対象シート】

シート4 授業支援と授業以外の支援 シート6 受験者数・入学者数 シート7 前年度卒業生の進路 シート8 障害学生数～合理的配慮提供学生数

5. 発達障害

●令和6年度から発達障害のある学生の計上の仕方を変更しました。

令和5年度までは、診断書がある学生のみを発達障害のある学生として計上していましたが、令和6年度からは、医師の診断書を有しない者でも、右記の根拠資料に基づいて確認される場合、障害学生に計上します。



調査票シート12「発達障害が疑われる学生への支援」を廃止しました。



診断書の記載内容が「発達障害の疑い」のみで具体的な診断名が不明であるなどの場合は、「大区分：発達障害、小区分：その他の発達障害」に計上します。

●発達障害と精神障害と知的障害の要件は下の表のとおりです。

要件 (確認する根拠資料)	発達障害	精神障害	知的障害
障害者手帳	○	○	○
医師の診断書	○	○	○
臨床心理士等の 意見書	○	○	×
標準化された 心理検査等の結果	○	○	×
個別の教育支援計画	○	×	×
判定機関の判定書	×	×	○
健康診断等	×	×	×

【対象シート】

シート4 授業支援と授業以外の支援 シート6 受験者数・入学者数 シート7 前年度卒業生の進路 シート8 障害学生数～合理的配慮提供学生数